

今年度から大津市環境部長に就任しました永阪です。  
平素は、市政各般にご協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、私たちの生活は日々便利になり多くのエネルギーを消費する一方、地球の温暖化が進み、近年は集中豪雨や猛暑日など温暖化の影響を身近に感じることも多くなってきており、農作物や魚など食べ物への影響も懸念されています。

私たちの生活の中では、できるだけエネルギーの消費を抑える省エネへの心がけや太陽光などの自然エネルギーの活用を進め、少しでも温暖化に向かわないように努めるとともに、熱中症に備えるなど温暖化した環境に対応できる方法を考えていくことが必要となっています。

温暖化対策の取り組みは、私たちの生活や事業活動に深くかかわっているため、行政の取り組みだけで達成できるものではなく、市民や事業者のみならずと一体となった取り組みが欠かせません。

大津市地球温暖化防止活動推進センターでは、家庭や企業の省エネ診断を始め、各種講座やホームページなどでの情報発信を実施しておられます。これらの情報を活用していただくとともに、今後も、温暖化防止に向けた取り組みに皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



7/30、おおつエコフェスタ2017

# センター通信

No.6

2017年10月10日発行

## こんなエコハウスに住んでいます

NPO法人 碧いびわ湖 綾 牧生

「壊したとき、ゴミにならない家を」  
我が家を建ててくれた大工、清水さんの言葉です。  
家を新築することを決めた私たち家族にとって、壊すときのことを考えると、まったくもって驚きの視点でした。  
石膏ボードやグラスウール、石油製品の数々。  
そういえば、どうやって処分されるんだろう…考えたこともありませんでした。

そして選んだのは、木の家。『自然とつながる暮らし』でした。

2013年に完成した我が家の特徴を挙げてみます。

○ 木の家…木の特性を十分に活かした構造と、清水さんならではの無駄の少ない材の使い方は、とても勉強になりました。無垢の木の床はとても気持ちよく、子どもの友達は我が家に来ると靴下を脱ぎ出します。

○ 断熱材としての土壁…グラスウール（ガラスを原料とする断熱材）は使いません。昔ながらのやり方で、竹小舞（細くした竹材を格子状に編んだもの）にコテで土を塗っていく作業は、友人たちに手伝ってもらいました。

○ 木製サッシ…冬になると悩まされていた結露がなくなりました。木の見た目も美しく、風景に違和感がありません。

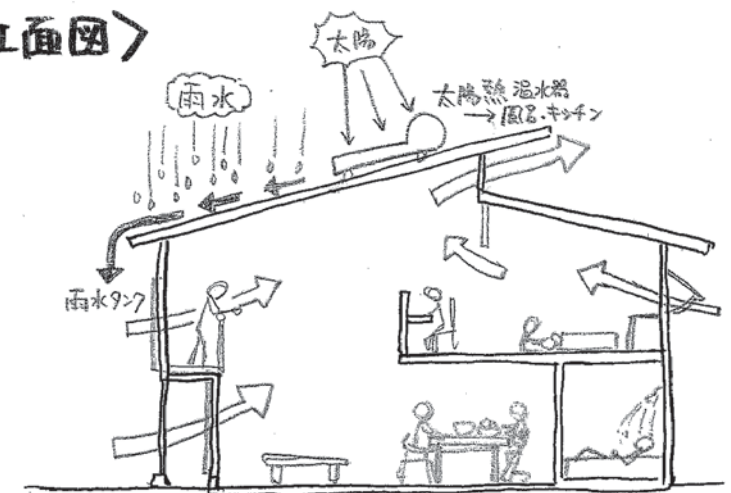
○ クーラーがない！…天窗から熱い空気を逃すなど、風の動きを考えた設計で、夏場も扇風機だけで過ごせます。木や土壁が湿度調整をしてくれるので、暑い外から帰っても家の中はひんやり。これには本当に驚いています。

○ 太陽熱温水器…お日様の熱でお湯を作り、それをお風呂、洗面所、台所で使います。夏場はほとんどガスを使わず、ガス代がほぼ半分になりました。冬場でも、真水ではなく少しお日様で温まった水から沸かすので、やはりガスの使用量は減りました。

○ 雨水タンク…駐車場の地下に、3.2t容量のタンクを埋蔵しています。トイレ、屋外、そして主に洗濯に利用しています。粉石けんを使う我が家の洗濯に、雨水はとても相性がいいです。石けんカスや溶け残りがほとんどなくなり、なによりさっぱりと洗い上がります。災害時の備えという点に於いても、あって安心な設備です。



### <立面図>



### 大津市センターの講座案内

#### ★ 大津の環境を守る「エコドライブを始めよう！」

エコドライブ理論講座 平成 29 年 11 月 4 日(土) 14:00~15:30

場 所：明日都浜大津 ふれあいプラザ4F 視聴覚室

内 容：「エコドライブってどうしたらいいの?!」

対 象：市内在住または在勤の方

定 員：30 名

参加費：無料

エコドライブ体験講座 平成 29 年 11 月 14 日(火) 13:00~16:30

場 所：月の輪自動車教習所（大津市月輪一丁目 6-1）

内 容：エコドライブトレーニング

対 象：理論講座を受講した運転免許保持者

定 員：5 名(申込多数の時は抽選)

参加費：2,000 円

申込締め切り：平成 29 年 11 月 1 日(水) 必着

#### ★ 地球温暖化防止事業 「うちエコ診断」

省エネを実践したいとお考えのご家庭を対象とした「うちエコ診断」を実施しています。「うちエコ診断」では、各ご家庭のライフスタイルに応じた最適な省エネ対策を、環境省の公的資格を持つ「うちエコ診断士」が具体的にご提案します。

① 平成 29 年 12 月 13 日(水) 南郷市民センター会議室

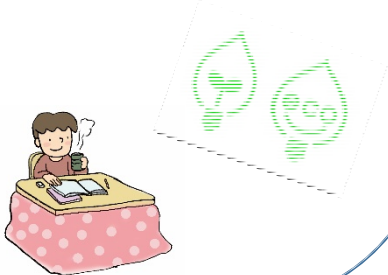
② 平成 30 年 1 月 15 日(月) 中央市民センター会議室

定員：各 10 名

診断時間：約 60 分

参加費：無料

申込締め切り：① 11 月 20 日(月) ② 12 月 15 日(金)



大津市地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム）  
〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 4F Tel：077-526-7545 Fax：077-526-7581  
E-mail：info@otsu.ondanka.net HP：http://otsu.ondanka.net/ 編集責任：森口 行雄

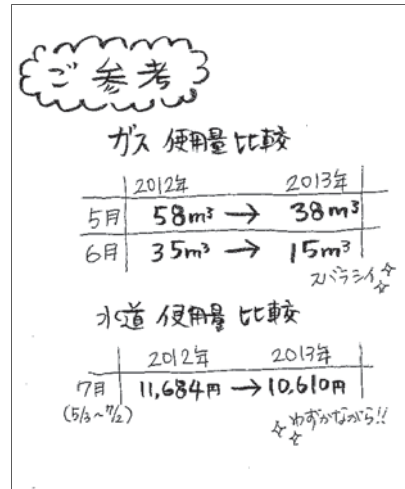
- 薪ストーブ…直接「火」を扱うことが減った現代で、我が家にとって暖をとるために必要不可欠な存在。火を起こす、絶やさないように薪をくべる、足りなくなれば外から運んでくる。自ずと子どもたちの仕事になっています。

暮らし始めて4年が過ぎ、「自然とつながる暮らし」というフレーズに実感が伴ってきました。

お日様が照ればお湯が熱々、冬はぬるい。日照りが続くと雨水がなくなり、洗濯が不便になる。薪はしっかり乾燥してないと燃えにくいし、焚付けには散歩の時に落ちていた枝がちょうどいい。

日々の暮らしの中で、子どもたちがそれらを当たり前のように身につけていく様子を見て、これこそ環境教育だなあと感じています。

みなさんの暮らしの中に、どれか一つでも取り入れてみるのは、いかがですか？ただそこにある自然の恵みへのありがたさを感じることで、それを使うことのワクワク。とても楽しい経験が待っています。



NPO 碧いびわ湖では、「自然とつながる住まいづくり」の相談に応じしています。お気軽にお問い合わせください。  
また、今年はせっけん運動の始まりから40年。新たなmade in shigaのせっけん「BIWACCA (ピワッカ)」の製品開発も始まっています。  
詳しくは碧いびわ湖ブログをご覧ください。  
<http://aobiwako.shiga-saku.net>

## 11月18日(土)「大津市環境情報合同交流会」を開催します

市民・環境系市民活動団体・事業者・大学・行政が一堂に会して「大津の環境を守り・創る」をテーマに交流を深め、相互の啓発を図り、環境意識の向上を目指します。

【会場】 ピアザ淡海 207号室

【内容】

- ★パネル展示セッション (申込不要、自由にご覧ください。) 11:30~12:50
- ★基調講演 13:10~14:10  
演題:「琵琶湖から地球まで~すべてがにつながる環境問題~」  
講師:滋賀県琵琶湖環境科学センター長 内藤正明氏
- ★テーマ別グループディスカッション 14:10~16:30
  - ①「びわ湖を守る」  
リーダー 川嶋宗継氏 (滋賀大学名誉教授理学博士)
  - ②「食品ロスの減少」  
リーダー 佐藤祐子氏 (おごと温泉観光協会副会長)
  - ③「気候変動の影響への適応」  
リーダー 竹内雅美氏 (滋賀県環境部温暖化対策課主任主事)
  - ④「環境と経済の両立」  
リーダー 嶽釜信一氏 (大阪ガス株式会社 滋賀地区副支配人)  
\*各リーダーからテーマについてのショートスピーチがあります

【定員】 60名 (先着順、申込時に参加ご希望のテーマ番号をお聞きします)

【主催】 大津市 大津商工会議所

【参加費】 無料

申込み・お問い合わせ: 大津市地球温暖化防止活動推進センター

TEL: 526-7545 FAX: 526-7581 メール: info@otsu.ondanka.net

申込用紙はダウンロードできます <http://otsu.ondanka.net>

\*お問い合わせ 大津市地球温暖化防止活動推進センター (077-526-7545)

## “大津市を緑あふれる街に” で頑張る「大津市公園緑地協会」を訪ねて

訪問者 事業部 家城 弘和

大津市の緑化活動の拠点である「公益財団法人大津市公園緑地協会」を訪問し、拾井理事長、山中課長、池本係長からお話を伺いました。

Q: 貴協会の事業の目的からお聞かせください

A: 市政の一翼を担い「快適で安全な緑あふれる、住み良い環境の街づくり」

当協会は平成5年大津市政の一翼を担う団体として、都市緑化の推進、公園緑地及びスポーツ施設の円滑な運営に努め、快適で安全な緑あふれる住み良い環境づくりと、地域社会の健全な発展を目指すことを目的として発足しました。平成23年に現在の組織である「公益財団法人大津市公園緑地協会」として新たなスタートを切り、広く緑化活動や公園・スポーツ施設管理、環境保護活動に取り組んでいます。



Q: おおつ環境フォーラムの「KES (\*1)」にも登録頂き活動されていますね 左から山中課長、拾井理事長、池本係長

A: 当初ステップ-1でスタート、現在はステップ-2にステップアップして活動中

はい、平成19年に「KES環境マネジメントシステム ステップ-1」に登録して活動をはじめ、平成23年にはステップ-2にステップアップして活動しています。

Q: 貴協会の場合、事業活動そのものが環境活動と言えますね、どのような取組みをされていますか

A: 当初は「省エネ」「省資源」、現在は「緑化推進」「環境保護」にシフト

当初は事務所を中心とした電気やガスの使用量を削減する「省エネ活動」、事務用紙の使用量削減の「省資源活動」に取り組んできましたが、そろそろ限界も見え始めたことから本来業務の緑の啓発活動として「緑化推進」「環境保護」にシフトして取組を進めています。

Q: それらの取組みではどのような成果につながっているのでしょうか

A: ボランティア団体「ハートフルガーデナー」を育成、事業推進の大きな力になっています

初期の省エネ・省資源活動では削減に成果を上げることが出来ました。職員の意識向上にも大いにつながりました。緑の啓発活動では「花と緑あふれる街づくり」をテーマに、JR大津駅前、大津市役所玄関前等でJRの社員さんやボランティアを中心に花や緑を増やす活動を行っています。またグリーンカーテン事業としてゴーヤを公共施設等に配布して、緑化意識の推進に取り組んでいます。さらに緑の活動支援事業として花と緑の正しい知識を持ったボランティアの養成講座を実施、既に11期290名の卒業生が生まれました。この卒業生で「ハートフルガーデナー」というボランティア団体を設置し園芸を通じて地域づくりや福祉等の社会活動をサポートしています。この活動は平成29年6月10日の「みどりの愛護の集い全国大会」で国土交通大臣表彰を受けました。



大津駅前「花壇」

「手のひら花苑」「花街道」の推奨、「生物多様性」「ナラ枯れ防止」など幅広く取り組んでいます

市民グループや地域住民が街角に小さな花壇を作る「手のひら花苑」、さらにこれを拡充した「花街道」推奨による景観づくりや、NPO法人等と協働で小学生対象にピオトープ作りの体験活動や、緑を守るための野外活動・琵琶湖畔での水鳥観察会の実施・公園での自然観察会など生物多様性と環境保護意識を高めるための活動にも取り組んでいます。さらに最近「ナラ枯れ被害」が公園等でも広がっていますが、京都府立大学の先生のアドバイスも受け被害状況の調査と対策を検証し、除去作業等を地元住民や造園関係者と共同で実施、成果を挙げています。(ナラ枯れは「カシノナガキクイムシ」がナラ菌というカビの一種を樹木に入れ込み枯木となる。平成25年度~平成28年度で779,000匹捕獲)



ナラ枯れ防止活動

Q: KESを本来事業に活用し成果を上げるとともに、事業の幅を広げられることが良くなりました。これからの課題は何でしょうか

A: SDGs (\*2) に対応できるKESステップ2SR (\*3) への登録を検討

当協会の事業は地域との連携強化による継続的な取組みが必要です。最近SDGsの取組みも始まりましたが、この17項目の目標には私たちの事業に求められる項目(住み続けられるまちづくり)も入っています。KESステップ2SRはこれに対応できるものと考えており、登録に向けて検討を行うことにしています。

\*1…京都から発信された中小事業所向け「環境マネジメントシステム」の規格、ステップ-1 (初期段階)、ステップ-2 (ISO14001並の規格)

\*2…SDGsとは2015年の国連サミットで採択され、環境問題のみならず多くの課題で「持続可能な発展」を目指し17項目の目標を掲げる

\*3…KES ステップ-2SRは「持続可能な発展への貢献を最大化する」ことを目的に取組の幅を広げた規格。SDGsにも対応します。